

安全に工事を進めるため、地域の皆様への影響を少なくするために、下記の取り組みを行っております。ご不便・ご迷惑をおかけしますが、引き続き、安全第一で工事を進めますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



工事車両が一般車両の通行を妨げないよう、ヤード①を工事車両の通行路や待機場として整備しています。



線路脇の斜面地を活用し、ヤード②までの工事車両専用の通路を設けました。工事車両が生活道路を通行することを極力減らしています。



工事車両は前方には目印を取り付け、鶴ヶ峰連立の車両と一目で分かるようにしています。



運転席にAI衝突防止装置を搭載しています。歩行者、一般車両が近くにいるときは警報を鳴らして運転手に危険を知らせます。

第1工区と事業全体の主なスケジュール（予定）



昨年10月に開催された「旭ふれあい区民まつり」にそうにゃんが参加し、鶴ヶ峰連立をPRしました！

お問い合わせ

【事業に関すること】横浜市 道路局 建設部 建設課（鉄道交差調整担当）
 TEL：045-671-2792 / FAX：045-663-8993 / E-mail：do-tetsudou@city.yokohama.jp
 【工事に関すること】相模鉄道株式会社 施設部 建設課
 TEL：045-520-4331 / FAX：045-520-4337 / URL：https://www.sotetsu.co.jp/support/

鶴ヶ峰連立 検索



工事説明会の資料



鶴ヶ峰連立News



鶴ヶ峰駅付近の連続立体交差事業は、西谷駅から二俣川駅間において、鉄道を地下化することにより10箇所の踏切を除却し、「交通渋滞の解消」「歩行者の安全性の向上」「鉄道に分断された地域の一体化」等を図る事業です。

現在、横浜市と相模鉄道が事業を進めており、第8号ではシールドマシンの発進拠点となる第1工区の工事の様子と、安全に工事を進めていくための取り組みについて紹介します。

電車から見える工事は何をしているの？

相鉄線に乗車すると西谷駅から鶴ヶ峰駅間の車窓からは、大きな建設機械が動いている様子を見ることができます。「何の工事かな？」と思われる方も多いのではないのでしょうか。

その工事は「鶴ヶ峰連立」の工事です。この付近では、シールドマシンの組立や発進に必要な「立坑（たてこう）」と呼ばれる垂直な穴を掘ります。現在、土留杭を並べて壁を作っており、壁が完成した後にその中を掘り進めていきます。



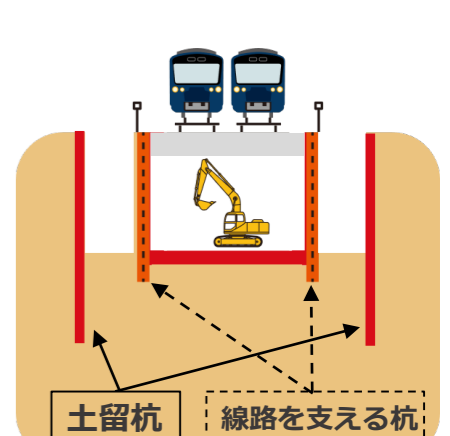
<土留杭の設置状況>



<土留杭の設置完了後>

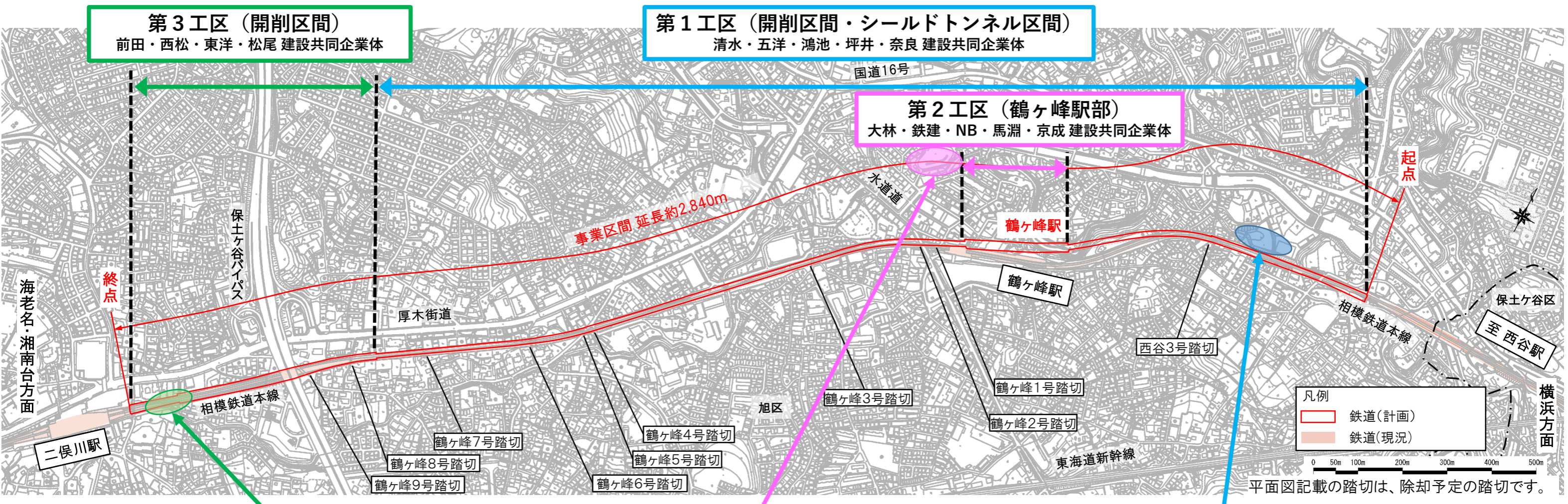


「立坑」のイメージ図

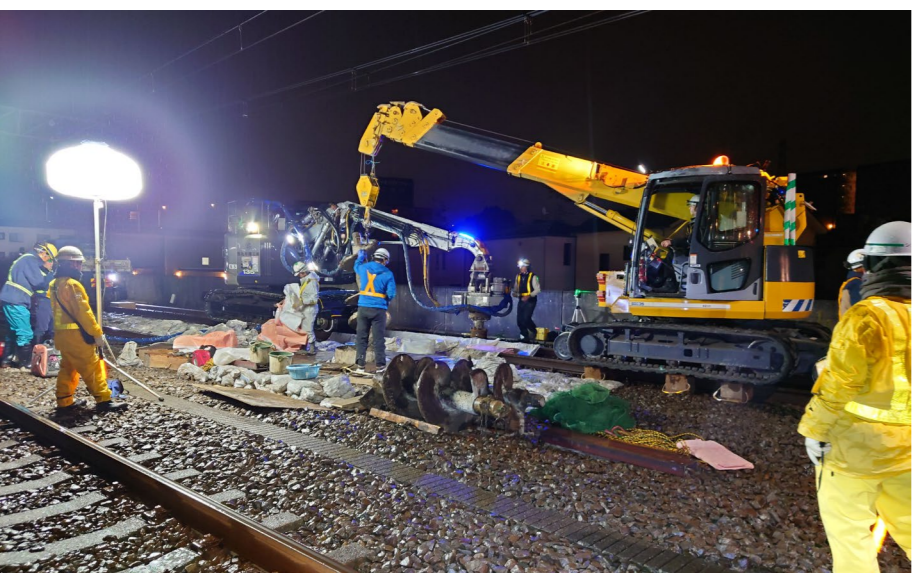


「土留杭」と「線路を支える杭」を設置した後、重機で土を掘り進め、「立坑」をつくります。

各工区の工事進捗状況



線路内で土留杭の設置を行っています



鶴ヶ峰9号踏切から二俣川駅の間において、終電後から始発までの短い時間で、土留杭を設置する工事を実施しています。
 上記写真は、クレーンなどの建設機械が線路内に乗り入れ、杭を入れるための穴を掘っている様子です。

【3工区】前田・西松・東洋・松尾JV
 電話：045-744-9125

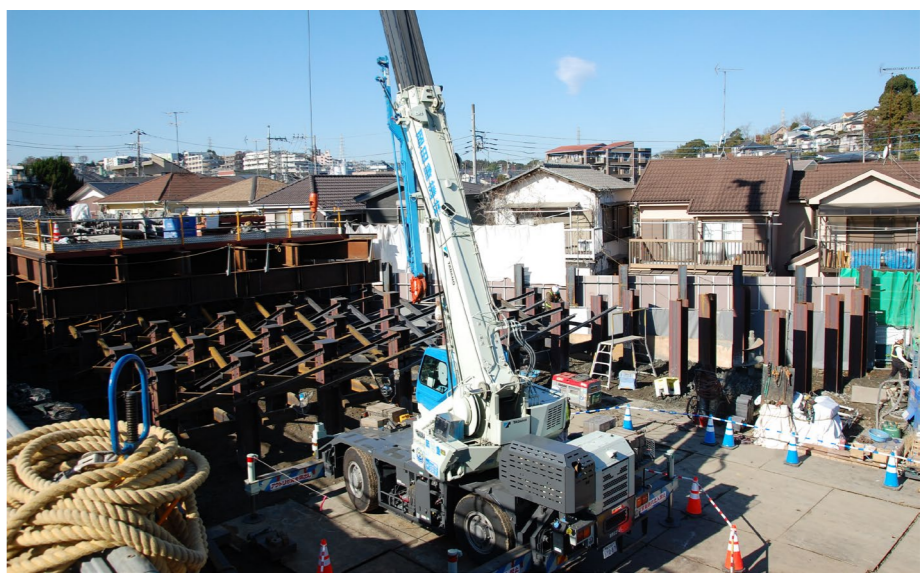
鶴ヶ峰バスターミナル改変工事が始まりました



鶴ヶ峰駅部の工事では、水道道の更なる渋滞悪化を避けるため、土砂等の搬出に使用する工事車両が、国道16号、鶴ヶ峰バスターミナルを経由し駅北口にある作業ヤードまで通行します。
 そのため、バスターミナルを改変する工事を実施しています。

【2工区】大林・鉄建・NB・馬淵・京成JV
 電話：045-744-8971

シールドトンネル工事に向けた準備を進めています



高低差がある作業ヤードを有効に使うため、作業構台を設置しています。
 上記写真は、作業構台の土台となる杭を地面に打ち込んでいる様子です。今後は杭の上に床を設置していきます。

【1工区】清水・五洋・鴻池・坪井・奈良JV
 電話：045-442-5240